

つくばみらい市の

放射線量はどうなっているの？

市は、福島第一原子力発電所事故による、市民の不安解消を図り、放射線対策を強化するため、「放射線対策室」を新設しました。「放射線対策室」では、現在、市内の各施設を対象に放射線量の測定をしています。測定方法としては、市施設を中心に

選定した測定箇所37箇所を5つのグループに分け、曜日ごと（土、日、祝日を除く）に測定しています。1点を5回測定し、その平均値を測定値としています。測定結果については、ホームページで公開しているほか、各施設（各庁舎、各公民館、

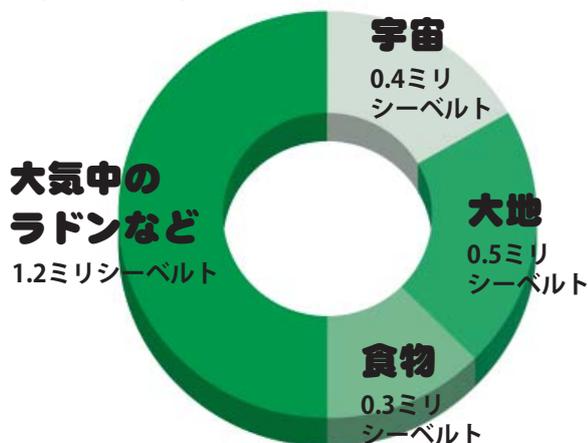
図書館、総合運動公園、谷和原保健福祉センター、各コミュニティ

センター、きらくやまふれあいの丘)においても掲示しています(即日午後3時更新)。
放射線量は、天候や風向き、測定箇所、時間、測定器の特性などにより変化します。また、新聞などで発表される県の放射線量の測定値と、市が公表する数値とは測定時の高さや機器の精度の違いにより

より差が生じています。参考…シーベルトとは、人の体が放射線を受けたとき、その影響の程度を測るものさしとして使われる単位です。1ミリシーベルト=1000マイクロシーベルト ※測定場所については、今後増やしていく予定です。

身の回りの放射線は??

放射線はいろいろなところから発しています。私たちは、その放射線を普段から浴びています。それを「自然被ばく」と呼んでいます。



自然被ばく：年間2.4ミリシーベルト (世界平均)
(=2,400マイクロシーベルト)

日常生活の放射線は??

